



xarvio™
Digital Farming
Solutions

powered by BASF



農機出力マップ

可変散布マップ

衛星画像解析マップ

施肥マップ

土壌マップ

※画像はイメージです。開発中の機能が含まれます。

xarvio FIELD MANAGER

ザルビオフィールドマネージャー

JA全農 × BASF

水稲・大豆で2021年4月サービス開始

● 人工知能 (AI) が栽培管理を支援

● 各種自動解析で圃場を見える化

www.xarvio.com

栽培管理支援システム ザルビオ フィールドマネージャー

AIでスマート農業実現を

JA全農とBASFが協創するスマート営農支援

JA全農とBASF デジタルファームング社は、人工知能(AI)を活用した栽培管理支援システム **xarvio® FIELD MANAGER** (ザルビオ フィールドマネージャー)を、2021年4月1日に日本でリリースいたしました。ザルビオ フィールドマネージャーは、作物や品種、タイムリーな気象情報、人工衛星からの画像解析等様々な情報を、AIによって解析することで、最適な管理を提案し、より効率的な栽培管理をサポートする新しいデジタルソリューションです。

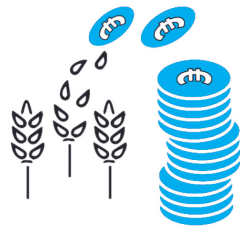


活用事例： 海外におけるフィールドマネージャーの効果*

防除タイミングの最適化

+4,000円/ha

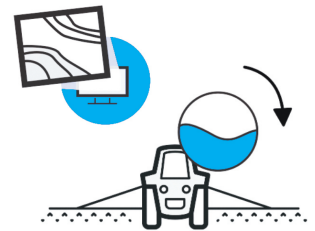
散布回数・散布時期の最適化により、防除効果を維持しながら農薬使用量を30%削減



可変散布マップの活用

+4,100円/ha**

可変散布による散布量の最適化で、防除効果を維持しつつ、農薬使用量を30%削減



* 慣行と比較した場合。1ユーロ125円として換算。

**海外(独・仏・英・波・白・宇)における実証実験の結果(2017-2019, n=81)

AIが複雑な栽培管理の意思決定をサポート

担い手への農地集積が進み、大規模営農が増加していますが、その栽培管理は非常に複雑なものになってきています。圃場の立地条件や過去の栽培履歴が異なることによる管理の違い、作業の分散性を考慮した多様な品種・栽培体系の導入など、その栽培管理の最適化は困難を極めます。JA全農とBASFの協業により、この大きな課題の解決に取り組めます。

ザルビオフィールドマネージャーの主な機能

ザルビオ フィールドマネージャーは、2017年に海外でサービスを開始し、2020年には世界15カ国で400万ha以上の農地で活用されており、シーズンを通して栽培管理をサポートします。

自動生育予測

AIが圃場毎の作物生育ステージを自動解析・通知

衛星画像自動解析

圃場毎に衛星画像を自動解析し生育状況を表示

病害アラート(水稻)

AIが圃場毎の病害リスクを算出し防除を推奨

雑草管理最適化(大豆)

AIが最適な雑草管理体系を推奨

可変散布マップ

生育解析結果等をもとに可変散布マップを出力

サービスの詳細やご利用開始のお問い合わせはこちらまで

☎ 0120-014-660

✉ japan@xarvio.info

www.xarvio.com

全国農業協同組合連合会

www.zennoh.or.jp

BASFジャパン株式会社

アグロソリューション事業部

crop-protection.basf.co.jp